

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	自己 33 外部 12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化や終末期の対応について、家族との話し合いの結果を細部にわたって記録し、個別に対応しておく必要がある。	重度化や終末期の対応について、折に触れて家族との話し合いを持つことにより、それぞれの入居者に応じた支援が可能な体制を整える。	現在の状況及び今後に対する家族面談の記録を見直し、家族の希望や意見を聞きながら今後の対応や方向性を明確にするとともに、家族にも納得していただいた上で、面談の都度、署名捺印をいただくように努める。	12ヶ月
2	自己 35 外部 13	災害対策 2階建ての建物の構造上、緊急時、入居者の避難誘導に不安がある。	さまざまな避難誘導訓練を継続実践することにより、職員の防災意識を高めるとともに、火災、地震、その他の災害の予防と人命の安全を図る。	消火器の位置の確認、避難口ドアの開閉点検等、自主防火点検項目表により月々チェックを行う。 避難誘導訓練の実施 ・入居者全員の避難訓練・情報伝達訓練 ・避難用担架の購入	12ヶ月
				救急救命法の実施 地域の消防団や近隣住民との連携の強化 ・近隣の人に、いっしょに訓練に参加してもらう。 ・消防団員に施設内の間取り等を見てもらい、緊急時に役立てたい。	
3	自己 49 外部 18	日常的な外出支援について 地域や小中学校の行事等に参加する場合は、年間計画に沿って行っているが、グループホームの生活の中で外出することは数が限られている。重度化、身体的レベルの低下が外出を難しくしている。	可能な限り入居者の外出の機会を多くしたい。	前庭の整備が整ったことから、日なたぼっこを日常的に取り入れたい。 老健からリフト車を借用し、入居者のローテーションを組み毎月定期的にドライブを計画し実施したい。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。